

# 日本人の発言能力を向上させるためには

土浦第一高等学校 3 班

2 年 A 組永倉美里 2 年 G 組北村優有

指導教諭 関谷隆志先生 鈴木美樹先生

## 【要旨】

我々が普段授業を受けていて常に感じているのは、先生から質問をされても挙手を行う生徒がほとんどいないことである。しかしアメリカなどの諸外国の生徒は積極的に挙手するようだ。また、国際化のすすむ 21 世紀において発言力は、コミュニケーション能力の中でも欠かせないものとなっている。このことから日本人の発言力の低さの現状に危機感を抱きこの研究を始めた。FW や実験を通して日本人の発言能力を向上させるために何が必要かを提案する。

## What's necessary to improve the ability of Japanese people to speak up?

Tsuchiura First High School Group 3

Misato Nagakura Yu Kitamura

Supervisor: Takashi Sekiya Suzuki Miki

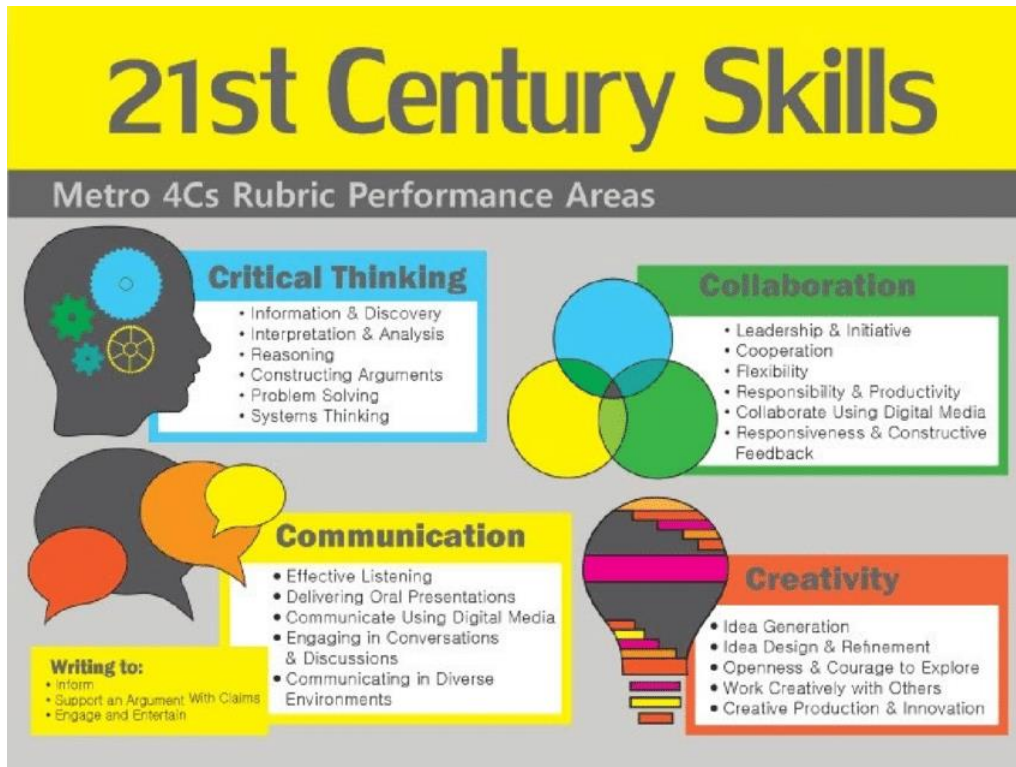
## 【Abstract】

In classes, when our teachers throw us some questions, many students do not raise their hands in Japan. But the students in foreign countries do. Also, communication is one of the most necessary skills in the 21<sup>st</sup> century. We think Japanese people's tendency to not special up is a serious problem. Through fieldworks and experiments, we want to suggest the necessary thing to improve the ability of Japanese people to speak up.

### 1. 研究動機

授業で先生が我々生徒に質問を投げかけても誰も答えないどころか、挙手をする人が少ないという経験を多々してきた。このように生徒は授業に対して積極的ではないのが普通なのかと考えていたら、どうやらアメリカなどの諸外国では異なるようだ。外国の授業の様子についてのサイトなどを開いてみると、外国では生徒たちが積極的に先生の質問に対して挙手をしているなど授業に対して積極的であるという内容が多く見られた(資料1)(資料2)。

また、国際団体 ATS21s が発表する [21st skills(21 世紀型スキル)] によると、「発言力はコミュニケーションにおいて最も重要な技術の一つである」と言われている。(図1)。



21世紀型スキルとして発言力を必要とする行動が求められている(図1)

このことから諸外国に遅れをとらないためにも日本人の発言力の低さの原因を考察し、発言を恐れない人材を育成する必要があると考えた。

## 2. 仮説

我々はまず、外国の授業の様子を紹介したサイトに添付されていた写真と日本の授業の風景を比較した。



一般的な日本の教室(越後谷神立小学校スタジオ)(図2)



アメリカのボーディングスクールで取り入れられている教室(図3)

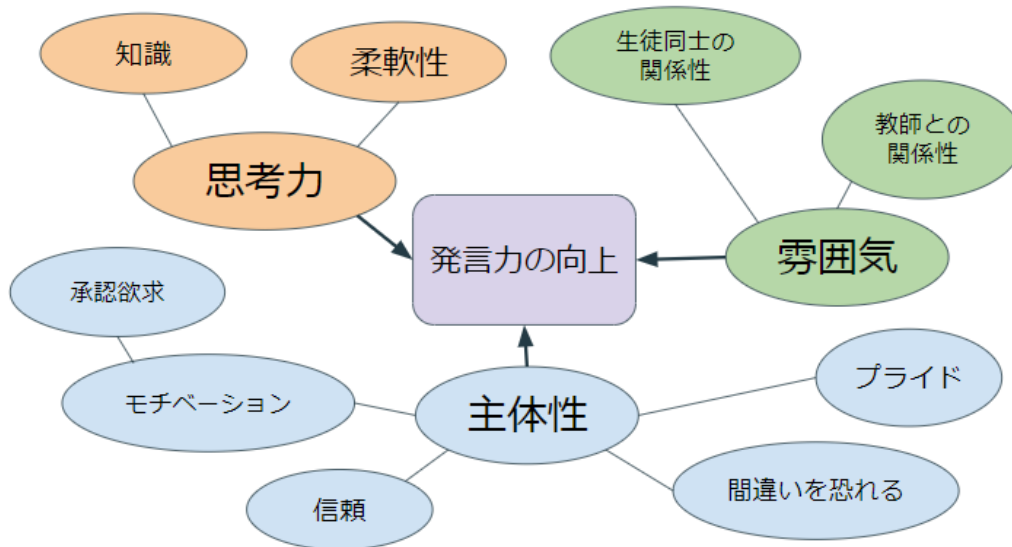
上の図2、図3より

- ・机や椅子の形状や大きさ
- ・室内の壁紙の色
- ・照明の明るさ

などが違うことが分かる。このことから我々は日本人の発言力の低さは環境的要因が関係しているのではないかと考え、以下のような仮説を立てた。

仮説① 日本人の発言能力の低さは環境と関係がある

同時に我々は図4のようなフローチャートを作成した。



(図4)

そして軸となる思考力、主体性、雰囲気の中で一番大きな要因は主体性だと考え、二つ目の仮説を立てた。

仮説② 日本人の発言能力を向上させるためには生徒の主体性を育成する必要がある。

### 3. 仙台フィールドワーク（2022年8月18日訪問）

仮説②を検証するために我々は宮城県仙台第三高等学校(以下仙台三高)の佐藤先生の話を知った。仙台三高はSSH(スーパーサイエンスハイスクール指定校)に指定されていて、その活動の主軸として「PBL型授業」、「ICT活用授業」、「主体性の育成」を挙げている(資料3)。フィールドワークでは主体性の育成について「生徒の主体を育成するために授業を教科横断型の形態にする、授業の構成を工夫するなど教師も試行錯誤を行っている」とおっしゃっていた。

また、仙台第三高等学校の佐藤先生から我々の研究に関して「発言力の低さは環境に起因するものではなく、失敗を恐れている事が原因なのではないか」とご提言をいただいた。

### 4. 仮説の見直し

佐藤先生よりご提言を頂いたことから、我々は仮説①と仮説②はテーマと関係がないのかもしれないと考え、仮説の見直しを行った。

北村が所属している二つの委員会の会議を比較すると、日頃からコミュニケーションしている放送委員会の会議は意見が多く出て会議の議題と関係のない会話も多かったが、特定の時期しか活動を行わない第一会場委員会の会議ではそもそも会話が少なかった。このことから新たに以下の2つの仮説を立てるに至った。

仮説③ 日本人の発言能力の低さは所属グループの人数と関係がある

仮説④ 日本人の発言能力の低さは所属グループの仲間との仲の良さに関係がある

仮説③と仮説④はどちらも所属しているグループと相関があるのではないかという仮説である。

## 5. 調査方法

日時：2023年1月23日月曜日 16:30～16:45

場所：土浦第一高等学校2年A組、B組の教室

被験者：土浦第一高等学校第2学年44名

### 実験内容

1. 被験者44名を22人ずつAグループとBグループに分け、さらに4人、5人、6人、7人のチームに分けた。分け方は会場に来た順番に分けていった。
2. 各グループに「土浦一高の文化祭を盛り上げるためにはどうすればよいか」というテーマについて5分間話し合ってもらった。
3. AグループはBグループと仲の良さの点で比較するために、話し合いの前に5分間「果物」をお題に山手線ゲームをしてもらった。Bグループでは行っていない。
4. 各チームで以下の二点について結果を比較する。
  - ・最初に意見が出るまでの時間
  - ・5分間でいくつ意見が出たか
5. ただし、各チームの話し合いで出た意見の内容は問わないこととする。

## 6. 結果

以下の2つの表1および表2は実験の結果である。

### ・最初に意見が出るまでにかかった時間(秒)

	Aグループ	Bグループ
4人チーム	29	24
5人チーム	10	15
6人チーム	1	18
7人チーム	34	29

(表1)

・五分間に出た意見の数(個)

	Aグループ	Bグループ
4人チーム	11	12
5人チーム	10	12
6人チーム	6	15
7人チーム	11	18

(表2)

## 7. 考察と結論

表1、表2より、仮説③に対してグループの人数に対する発言のしやすさと比較すると、5人または6人のグループではより早く一つ目の意見が出やすいことが分かった。

また、話し合いの前にゲームを行ったAグループとそうでないBグループでは大きな差異が見られなかったことから、仮説④に対しては各チームの仲の良さ意見の出やすさは相関関係がないことが分かった。

このことから、日本人の発言能力を向上させるためには、5人または6人のグループで話し合いをするトレーニングを用いると最も効果が得られると考えられる。その際、チームの仲の良さは関係ないだろうとも言える。

## 8. 今後の課題

仮説設定に至るまでにかなり時間がかかってしまったことが反省点である。また、実験において仲の良さを比較するためには、全く仲の良くない被験者たちを用いた方がより正確な実験結果が得られたと考えられる。今回は例えクラスが違ったとしても、高校生活を共にしたためお互い顔見知り程度の仲の相手が何人か見られたので、次回似たような実験を行うときに注意したい点である。

## 9. 謝辞

取材にご協力をいただいた宮城県仙台第三高等学校佐藤勝義先生、田中恵太先生、実験に協力していただいた土浦第一高等学校第2学年の皆様、その他研究にご協力をいただいた全ての方々にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

## 10. 参考文献

資料1 [留学してみて分かった日本と違うアメリカの授業の特徴 | Jobby \[ジョビー\] \(jobhobby.jp\)](http://jobhobby.jp)

[【海外歴20年で見えた教育現場体験】こんなに違う欧米の小学校の一日！ | スピーキング上達に特化した、海外暮らし Twenty \(kaigaigurashi.com.au\)](http://kaigaigurashi.com.au)

資料2 [【米国大学留学】ガンガン発言する授業に紛れた日本人が思うこと - スーツを着たアーティストのブログ \(artistinasuit.com\)](http://artistinasuit.com)

資料3 [SSH-授業づくり研究センター - 宮城県仙台第三高等学校 \(myswan.ed.jp\)](http://myswan.ed.jp)

図1 [21st Century Skills - NON-STOP TEACHING \(nonstop Teaching.com\)](http://nonstop Teaching.com)

図2 <https://www.sportsday.jp/venue/kandatsu/>

図3 <https://www.edicm.jp/blog/entry-792.html>

サイト名

•21st Century Skills and Competences for New Millennium Learners in OECD Countries

[21st Century Skills and Competences for New Millennium Learners in OECD Countries | OECD Education Working Papers | OECD iLibrary \(oecd-ilibrary.org\)](#)

•ASSESSMENT & TEACHING of 21st CENTURY SKILLS [ATC21S\\_Exec\\_Summary.pdf \(cisco.com\)](#)

•名門ボーディングスクールの学生から学ぶハークネスメソッド [名門ボーディングスクールの学生から学ぶハークネスメソッド | Learning Creator's Lab \(kotaenonai.org\)](#)